



園部共同作業所 だより



園部共同作業所発行
〒622-0011
船井郡園部町上木崎町入道32
電話0771-62-3249
FAX0771-63-2941

N 051

作業所で健康相談をしています



園だんまは いな生な持メ健ま間始てら緑の早園 内園ん
部さ気す行四と手活生ちん師き：めメ、のよや部福藤部、作
町い軽のき月思助に活なバーな：たン作公う十の知で町役場
役ね。にでたかてを送れるように、健康害の一はこ話入のをつが
場 声、いらはいます。具体的なががー車作業年：：。毎日
内 藤 保 健 师 み あ け 師 み

がねかてリ教は つ母語病つ誕のてグうこ談所ばなれルの 園場談談 出つか十重て域の
生、らいエ室当さた。さし気ぼ生集いルにら室ににかて！八昭部が員員私多て：年ねのに場園
ま作、きー、初て んてのみしまつ！なれが、完つおブ木和保八と當精所か船くこ動ざに共
れろ作、シスの、 かこ娘ど、たりたブリたで待成たら活保四健木保ては神でし井がらとし移同
てう業そヨボ雜グ ちらさい。か。活、人きちし。ず動健十所健の精保
いと所のン！談ル のれんう家ら家動そ達たにた五、は所、で所最神健
ついが活とツか！ 提たを名族家族がのが。待園十家ま時五あへ最神健
たう欲動広、らブ 案あ長称会族の誕中憩相つ部年族だ代十つ現初衛福
の機しのがレ料活 でる年はの会方生かう談た保代会行は年た在の生社
で運い中つク理動 あお世、“も々しらよに相健半もわグ代”。の職相相
がねかてリ教は つ母語病つ誕のてグうこ談所ばなれルの 園場談談 出つか十重て域の
生、らいエ室当さた。さし気ぼ生集いルにら室ににかて！八昭部が員員私多て：年ねのに場園
ま作、きー、初て んてのみしまつ！なれが、完つおブ木和保八と當精所か船くこ動ざに共
れろ作、シスの、 かこ娘ど、たりたブリたで待成たら活保四健木保ては神でし井がらとし移同
てう業そヨボ雜グ ちらさい。か。活、人きちし。ず動健十所健の精保
いと所のン！談ル のれんう家ら家動そ達たにた五、は所、で所最神健
ついが活とツか！ 提たを名族家族がのが。待園十家ま時五あへ最神健
たう欲動広、らブ 案あ長称会族の誕中憩相つ部年族だ代十つ現初衛福
の機しのがレ料活 でる年はの会方生かう談た保代会行は年た在の生社
で運い中つク理動 あお世、“も々しらよに相健半もわグ代”。の職相相

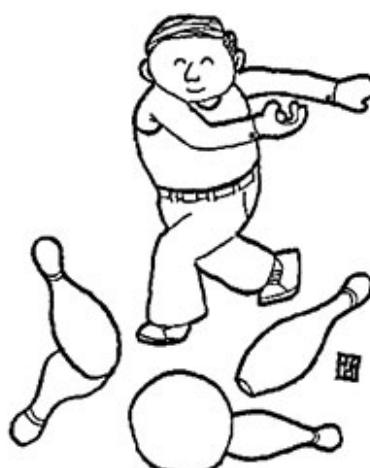
園部共同作業所の思い出



る郡そだどての三らたて 出今所 いまさ現動族つ提な二うののグ 職難あ
。はのい、もよ十れ。私こさでひ前以つん在き会た供さDひ一当ル山員。つ
私歴た人語う数、多はのれもと史上たてをのは、しいK言を五十才代の女性者
の史年生りな年支く京三る。はりでが、迎所広関以てこのか使つて」といは
原の月の尽言聞えの都月 つーあ園 体え長が係来下の狭らで「つた。いは
点中で宝く葉でら人府末 き人る部 制るでつ機、さひと家(御)免
なであ物せをあれ達を日 りのが共 整がこどある等町た部
の、つをな尽りてに退を と笑、同 つも杉きへ、の屋を免
で船たいいく、き教職も 思顔當作業 て決山、と家だを免
あ井。たほしどたえしつ いが時業

またいまでしうく会はその取設がて者いし。とし楽ただ未こ配りで、配へN京たあ皆たしがろ經を新で分組の本らの義H都りん。い、う験催春当とみ年れ援K府がな來一皆かのしボ作な支新度てお金歳共と言年日んと入ま一業り援年かお年配末同うつもがなももしリ所まをらり玉分た募ごてや過大思あたんとしと迎はまはす金ざまりご喜いり。グしたしえ各しと該け会いしたせびまど全大て。てる施たしの

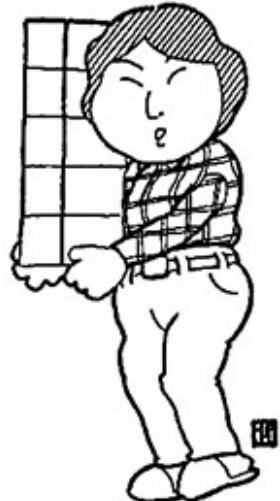
会春や
ボリ
ーま
リシ
ンた
グ
大新



りくる動に 良な動のり子か番当しひこべれトなのけ「め仕をし」もりたヶがはそ集「上」が構警
まなかかあもいり量運まにかテ然て仕ろッはなか流のナや上かて「」に「ミたこうめブが、え察「
しるらなるとも健でびし座ら」し事がテ充のなれこ「樋がい大と「」來僕の呼てルつ當るが運
た「まい彼もの康足仕たつずブ」ま「突お分でかのとへ包って忙お何」ん回かた作よ「び
「悪すか女とだ上腰事」テ「ルアつの然りにす重中で持をたおし声番」テ「ん運でるら製業う何屋
最循まら「肥つにのは今のデヘケた会にま承。要ですつす品り、がテ「」のあびい人テ品所なご」と
近環す太子満たも鍛結思作「ミの社こし知彼なはがてる物ま一か「私ブ担つ」まの「をで言と
でが動る想化「非鍊構う業ンのさでがのたで女ボコ「行作をし人かブのル當てのすこブ作は葉」
は始か「通傾」で常になととと声んす倒「カもイれ作く業箱たでりルとにて「仕」とル業出でと
日まな太り向。にも運こな椅も三。産運とソンは業だコ詰。汗まもこ取しア事昔をヘテ来す身ば

アケミさん
番ブルへ
三

曲したてし館思やがきかも行き
歌てた、岩てにいつままらきは
い力。と風も着まばだしこれまじ
まラそて呂らいしり残た徳いしめ
しオれもにいてた山つ、山でたに
たケかいはし部。陰てそ投し。鳥
。大らいいば屋そ地入の海取
夜会食氣りらにましに堂が砂
はで事持まく案してだした、雪着れて
なニをでしし内旅と



鳥取三朝温泉

常生活にも影響が出歩通所だつたところを徒步乗車に変更、以前をは皆勤賞に近いほどの参加率を誇つていいたハイキングや登山等スケルトンはほとんどの敬ボアー何とかしんながけドリバーフレクはほとんと願う毎日なのです。杉山俊夫



今まで業か行ま長宮にす場十のし歴行取めしか
すた楽所つけしい本い。が世梨た史き二またな
参しもたなた歴武き最お紀農ながま十し。か
加み色とい旅史藏ま後も梨家があし世た朝眠
しに々思の行ががしにしもをでるた紀。もら
たし行いでも書生た武ろの再ももと。梨あ早れ
て事まいないきそ藏かが現昭お色記くくませ
いいがすけかててこ資つたし和も々念る目せ
ます。てなあきで料たりた初い古館朝がん
い。つ作良かりたも館で劇二期まいに島さ



行事・
レクレーション

寄付金
佐橋 光子様

寄贈品

省教伝二山 シハたの駅でさつかタま一連どガい
し訓に、杉一ク秒の四伝すんたさなし泊発いタ花
てに参風の「リもでキ」。は「れカた旅し」ガ風粉
まな加邪中花。遅す口昨最喜なずラ。行て「タ邪症
す。りし気を粉
まな味走症
しいのらの
た。人な人
。よはいは
反い駅。北

編集後記

